



物流から考える
とちぎの未来

section 10

企画・制作／下野新聞社ビジネス局

物流の円滑化を図るため、モノの保管や荷役の効率化が注目されています。効率化で大きな役割を果たすのが「パレット」と言われる荷物を運ぶ台です。パレットの役割と可能性について日本パレット協会（東京）の宿谷肇専務理事に伺いました。

ハコブトチギ
特設Webサイト



過去の連載は
こちらから
ご覧いただけます

<https://www.shimotsuke.co.jp/feature/special/transport-tochigi>

パレット活用し効率化

「パレット」とは、「定数の荷物を載せる台のことで、主にフォークリフトを使って輸送、荷役、保管する時に使います。パレットに載せれば二つ運ぶよりも効率良く荷物を動かせます。

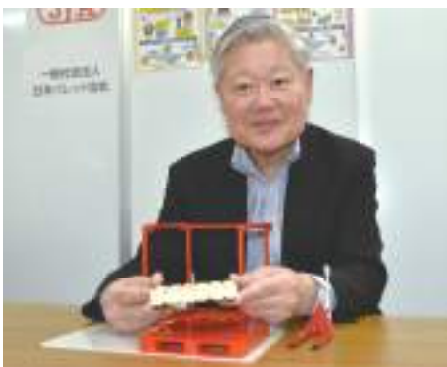
■一貫パレチゼーション

日本で使われているパレットは、木製、金属製、プラスチック製で形状は平パレット、積み重ねて棚のように使うポストパレットなどがあります。現在は業種・会社によりさまざまな寸法のパレットが使われ、約5億枚流通していると推計されています。

「物流の2024年問題への危機感が高まる中、トラックドライバーの負担軽減、物流の効率化の手段の一つとして、パレットに注目が集まりました。

長年の商慣習で、トラックドライバーが荷物の積み込みや荷降ろしなどを担っています。パレット協会の調査では、手で行うと120分かかった荷役作業がパレットを使えば4分の1の30分になることが分かりました。パレットに積んだまま発送から到着の荷降ろしまで一貫して輸送する方法を「一貫パレチゼーション」と呼び、さらに効率的な輸送が図れます。

パレットを十分に活用していただくために、パレットの規格化を進めています。荷主らが同じ形のパレットを使えば、荷物を数えやすい、トラックや倉庫に出し入れしやすいなどの利点がありますし、活用により効率化やDX推進が図れます。協会は縦横が110センチの11型パレットの利用を呼びかけており、国はパレット生産数量に占める11型パレットの割合を2030年度には50%以上を目指し



パレットの活用による物流効率化について話す
日本パレット協会の宿谷肇専務理事

ています。

パレットのレンタルも注目されています。せっかくパレットを使っても回収する際に負担が重いと利用が伸びません。レンタルは、使いたい時に使いたい分だけ利用でき、回収も業者が行うなど利便性があります。現在レンタルパレットの総数は約3千万枚ですが、30年度には5千万枚以上、レンタル事業者間で共同回収を行う拠点数を400カ所以上にする目標があります。一貫パレチゼーションを推進するためにもレンタル方式は有効です。



パレットを使って運ばれる荷物
(日本パレット協会提供)

■栃木県モデルを期待

2024年問題は、パレット業界だけで解決できるものではありません。発荷主、着荷主、倉庫、小売りそれぞれの立場で関心を持つようになり、国は、法律を整備し物流の効率化を強力に進めています。きちんと法律を整備しないと日本の物流は守れない、という危機感を感じますし、企業も「運送業者に運んでもらえない」という事態にならないよう対策が急がれています。

栃木県は、首都圏に近く東西南北に高速道路が走り物流の拠点地域で、東日本の中継地点でもあります。工業団地および農産物の出荷量も全国有数です。こうした環境から、栃木県が企業のパレット有効活用を含めた効率的な物流のモデル地域になることを期待しています。

2025年になりましたが、物流の2024年問題が解決したわけではありません。ますます深刻になる継続的な問題です。発荷主、着荷主、物流従事者、消費者との立場であっても物流の当事者という意識を持つていただきたいと思います。

私たちはハコブトチギを応援しています

足利銀行
specialty logistics ロジスティクスチーム

alpha create

株式会社 エネ創

心を結び 幸せを運ぶ
KAWASAKI TRANSPORT
川崎運輸株式会社

株式会社 サンコー

GOOD LIFE FOR YOUR FAMILY
SEASON HOME
シーズンホーム都市開発株式会社

NEXCO
東日本

株式会社

河内運輸株式会社

北関東広運株式会社

栃木県物流振興協議会

BNT

